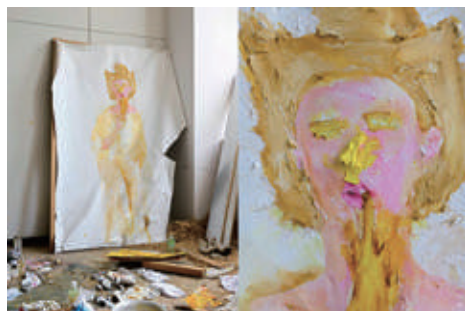




小林正人作品集 MK 12月上旬発売



執筆：小林正人、保坂健二郎（滋賀県立美術館ディレクター [館長]）
デザイン：鈴木聖
判型：B5判変形（178×235 mm） / 328 ページ / ハードカバー
テキスト：日本語 / 英語
定価：本体 9000 円（税別）



展覧会
「画家の肖像——『MK』出版記念展」
会場：シュウゴアーツ（東京都港区）
会期：2024年12月7日 - 2025年1月25日

同時期開催
「FAMILY / この星の家族」
会場：rin art association（群馬県高崎市）
会期：2024年10月27日 - 12月28日

「この星の絵の具で この星の画を描く——」

日本の現代美術を代表する作家のひとりである、小林正人。1985年から現在に至るまでの約40年間の画業を、320ページ超でまとめた初めての作品集が出来上がりました。1984年、東京藝術大学を卒業後、東京・国立にアトリエを構え、その活動をスタートさせます。1996年にベルギー・アントワープへ活動拠点を移し、大型の床置き絵画群の制作など独自の手法を確立していきます。

10年間のヨーロッパでの活動を通して、目の前に広がるすべてを「この星の景色」として捉える感覚を得た小林は、2007年に帰国、広島県鞆の浦の瀬戸内海を一望する場所にアトリエを建て、現在も精力的に制作を続けています。

本書は、東京・国立時代（1985—1996）、ベルギー・アントワープ時代（1996—2007）、広島・鞆の浦時代（2007—）と、3章立てで、各時代の作品、展示風景やスタジオ風景、作家の言葉、解説により、作品から広がる小林正人の世界を読み解く構成となりました。滋賀県立美術館ディレクター（館長）・保坂健二郎による寄稿「小林正人論」も必読です。

独自の概念と手法により、絵画の在り方を探求し続ける作家の濃度と温度を堪能する、類稀なる一冊です。

小林正人 Masato Kobayashi | 1957年東京生まれ。1996年サンパウロ・ビエンナーレ日本代表。1997年渡欧、以降ベルギー・アントワープを拠点に各地で現地制作を行う。2007年に帰国、福山市・鞆の浦を拠点に制作を続ける。絵の具をチューブから直接手にとり、キャンバスの布地を片手で支えながら擦り込むようにして色をのせ、同時に木枠に張りながら絵画を立ち上げていくという、まったく独自の手法を用いて、絵画の在り方を探求し続ける。展覧会多数。著作に『この星の絵の具 [上] 一橋大学の木の下で』（アートダイバー、2018）、『この星の絵の具 [中] ダーフハウス通り52』（アートダイバー、2020）。

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922

mail: info@tsubamebook.com
TEL: 03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名(番線印)	HeHe <small>www.hehepress.com mail: info@hehepress.com</small> 返品条件付注文扱い 返品了解：ツバメ出版流通 川人	
ご担当:	注文数	小林正人 Masato Kobayashi MK ISBN978-4-908062-62-9 C0070 定価: 本体9000円(税別)